

委員会メンバー

臨地実習先責任者 北海道社会事業協会帯広病院 看護副部長 田岡佳子

臨地実習先指導管理者 北海道社会事業協会帯広病院 臨床指導 寺西亜砂美

講師代表 中島節子

学校 教務部長 加藤由美

2021年度自己点検・自己評価に基づいた委員からの意見

<p>I 教育理念・教育目標</p>
<p>自己評価を支持します。教育理念を軸とした方針について学生に伝えているうえ、元々学生の志が高いと思われる。3年生になるとより手ごたえを感じます。人の命や人の持つ力を信じる、人を大事にしたいという気持ちが伝わる。3年間を通じて一貫性ある教育をされていると思われる。</p>
<p>II 教育目標</p>
<p>自己評価を支持します。教育目標に理念との一貫性があるため、目標を達成できるような学びができていますと感じます。コロナウイルスの影響もあると思われるが、極力対面での講義にもしており、制限がある中でも学びが深められているのではないかと感じる。学生と関わると良い看護師になるなと感じる。教育目標がいい形で展開されていると感じる。様々な体験・学びの中から目指すべき姿を学生はイメージができていますのだと考えます。</p>
<p>III 教育課程経営</p>
<p>自己評価を支持します。先生方と話をしている中で、先生方一人ひとりの前向きな姿勢、向学心があり刺激をされる。意識して教員間で学びを共有できているのではないかと感じる。</p> <p>実習体験の保障では、少ない実習の中でもいい体験ができていますのではないかと感じます。講義中の反応を見ても伝わってくる。患者さんと真摯に向き合う体験ができていますのだと感じます。病院と教員の協力体制、また教員と学生の関係性も良いと思われる。支援体制があるため体験が少ない中でも学びが深められているのではないかと考えます。</p> <p>この2年間のコロナ禍で感染対策をとりながら、学校・実習病院とは協働・連携ができていると思いますが、臨地実習時間の短縮・机上での事例のまとめ、振り返りが増える中で臨地での到達目標と机上での到達目標、到達度を共有し臨床での学習課題へ繋げることができるようにしていければ良いと思います。</p>
<p>IV 教授・学習・評価課程</p>
<p>自己評価を支持します。オンライン講義については難しい部分を感じます。しかしシラバスや学校としての方向性など打ち合わせの中で学校の事前準備もあり、学生はいい講義を受けられているのではないかと感じている。</p>
<p>V 経営・管理課程</p>
<p>自己評価を支持します。コロナ対策しながら校内でも快適に過ごせるよう努めていた。換気しながらも、不都合がないようにできるような工夫している。健康を守る工夫もしていると思われる。カウンセラー</p>

の体制もとても良いと思う。学生の相談にのるという教員の姿勢や体制も養成校ならではないかと思
います。教員も学生に対し丁寧な対応をしていると思います。思春期の範疇の学生を預かっている体制
としては安心できると思います。様々な情報、刺激、ストレスの中でナイーブな学生のフォローは継続
が必要であると思います。

ホームページは魅力的になっている。最新情報をあげていたり、関心のある人がこのホームページを
みて、興味を持ってくれるのではないかと思います。

VI 入学

自己評価を支持します。今後の学生確保は難しくなっていると思います。大学や養成校増えるなか
で、学校の良さを伝えること。進学していることや国家試験全員合格など学校の強みを伝える。今コロ
ナ感染が拡大しているような時期に看護師になろうという人に、学校の魅力をもっと知ってもらえ
たらいいのではないかと思います。

VII 卒業・就職・進学

自己評価を支持します。国家試験の成績をみても学校全体として取り組んでいると思います。卒後の
サポートもしているとのことなので継続して欲しい。新卒 1 年目は業務に追われることもあり精神的
なサポートが必要な時があると思われるが、看護学生時代に培った自分の中に大事にする看護の思い
や看護の本質を捨てないような学生が育ってほしい。現場が大変なのは良くわかると学校側は
受け止めていくと良いのではないかと思います。

VIII 地域社会・国際交流

国際交流は難しいかもしれない。特に今コロナ禍で地域の交流もなかなか難しい状況にあると思わ
れる。講義の中でイメージすることも大事。コロナ禍だからこそ学んだこともあるのではないか。人は
人とのふれあいの中で成長し学ぶ。ソーシャルディスタンスのせいで孤独になったりとマイナスなイ
メージもあるが、コロナ禍だからこそ、人との繋がりが大切であるとイメージできる。地域活動制限の
中で、人とのつながりやふれあいの大事さなど、今ある中で学べることを大事にしてけるといいのでは
ないか。

IX 研究

研究は頑張してほしい。実際にまとめ上げるということだけでなく、普段から教員間で研究的思考を
持ちながら、テーマに沿って話すなどしていくと意識を変えていくことに繋がるのではないか。